

第Ⅷ期・Ⅸ期(52次～61次)南極地域観測隊 公開利用研究実施一覧

※同行者はすべて夏期間

番号	実施 隊次	研究課題代表者		研究課題名	観測隊 区分	同行者 数
		氏名	所属・部署			
1	52	大島慶一郎	北海道大学	南極巨大沿岸ポリニヤにおける、係留系等による海水高精度観測	夏	1
2	52	須賀利雄	海洋研究開発機構	Argoフロートによる海洋変動研究	夏	0
3	52	グラエム・ポール	オーストラリア気象局	海面漂流パイによる南大洋の観測(オーストラリア気象局のパイ投入)	夏	0
4	52	川村賢二	国立極地研究所	ドームふじ近傍におけるフィルン空気中のCO2濃度およびフィルン温度プロファイルの直接観測	夏	1
5	52	齊藤隆志	京都大学	Repeat Photographyによる最近10-20年の氷床縁辺部の変動検出	夏	0
6	53	藤原康徳	日本流星研究会	昭和基地における自動ビデオ観測による南天流星の観測的研究	越冬	0
7	53	北出裕二郎	東京海洋大学	ピンセネス湾ポリニヤ域で形成される南極底層水の特性および生成量に関する研究	夏	0
8	53	グラエム・ポール	オーストラリア気象局	海面漂流パイによる南大洋の観測	夏	0
9	53	高橋哲也	島根大学	南極における紫外線の生物組織に及ぼす影響	越冬	0
10	53	アンドリュー・マクミン	タスマニア大学	高速フラッシュ励起蛍光光度計(FRRf)を用いた基礎生産の長期変動モニタリングのための調査	夏	0
11	53	奥野温子	武庫川女子大学	極寒地・南極大陸における高機能性繊維素材の開発	越冬	0
12	54	グラエム・ポール	オーストラリア気象局	海面漂流パイによる南大洋の観測	夏	0
13	54	須賀利雄	海洋研究開発機構	Argoフロートによる海洋変動研究	夏	0
14	54	大野浩	国立極地研究所	南極積雪に含まれる大気エアロゾル起源物質を分析するための試料採取	夏	1
15	54	小林史尚	金沢大学	南極域の風送バイオエアロゾル実相調査:気球等を使った先駆的生態系観測の展開	夏	1
16	54	渡邊修一	JAMSTEC	高頻度観測による南極海ケルゲレン海台付近の大気海洋間二酸化炭素収支解析	夏	0
17	54	アンドリュー・マクミン	タスマニア大学	高速フラッシュ励起蛍光光度計(FRRf)を用いた基礎生産の長期変動モニタリングのための調査	夏	0
18	54	高橋哲也	島根大学	南極における紫外線の生物組織に及ぼす影響	越冬	0
19	54	金高義	国立極地研究所	ドームふじ基地・新居住区建設にむけたモニタリング計画	夏	1
20	55	グラエム・ポール	オーストラリア気象局	海面漂流パイによる南大洋の観測(オーストラリア気象局のパイ投入)	夏	0
21	55	須賀利雄	海洋研究開発機構	Argoフロートによる南大洋の海洋変動研究	夏	0
22	55	藤吉康志	北海道大学	高緯度海洋上の水蒸気の安定同位体比の現場・連続観測	夏	0
23	55	久慈誠	奈良女子大学	しらせ搭載全天カメラ観測による南極航海中の雲の出現特性	夏	0
24	55	高橋哲也	島根大学	南極の紫外線が生物に及ぼす影響と好冷性微生物由来のセルロースなどに関する研究	越冬	0
25	55	小達恒夫	国立極地研究所	Argoフロートを用いた南極海ケルゲレン海台付近の基礎生産量の時空間変動観測	夏	0
26	55	アンドリュー・マクミン	タスマニア大学	高速フラッシュ励起蛍光光度計(FRRf)を用いた基礎生産の長期変動モニタリング	夏	0
27	56	グラエム・ポール	オーストラリア気象局	海面漂流パイによる南大洋の観測(オーストラリア気象局のパイ投入)	夏	0
28	56	須賀利雄	海洋研究開発機構	Argoフロートによる南大洋の海洋変動研究	夏	0
29	56	久慈誠	奈良女子大学	しらせ搭載全天カメラ観測による南極航海中の雲の出現特性	夏	0
30	56	田阪茂樹	岐阜大学	南極域での Be-7 観測による成層圏-対流圏物質輸送の研究	夏	0
31	56	高橋哲也	島根大学	南極の紫外線が生物に及ぼす影響と好冷性微生物由来のセルロースなどに関する研究	越冬	0
32	56	小達恒夫	国立極地研究所	フロートを用いた南極海ケルゲレン海台付近の基礎生産量の時空間変動観測	夏	0
33	56	アンドリュー・マクミン	タスマニア大学	高速フラッシュ励起蛍光光度計(FRRf)を用いた基礎生産の長期変動モニタリング	夏	0
34	57	久慈誠	奈良女子大学	しらせ搭載全天カメラ観測による南極航海中の雲の出現特性	夏	0
35	57	勝又勝郎	海洋研究開発機構	自律海洋観測フロート(アルゴ)の投入	夏	0
36	57	ジョエル・カプリエ	オーストラリア気象局	海面漂流パイによる南大洋の観測(オーストラリア気象局のパイ投入)	夏	0
37	57	高橋哲也	島根大学	南極の紫外線が生物に及ぼす影響と南極由来のセルロースに関する研究	越冬	0
38	57	アンドリュー・マクミン	タスマニア大学	高速フラッシュ励起蛍光光度計(FRRf)を用いた基礎生産の長期変動モニタリング	夏	0
39	58	久慈誠	奈良女子大学	しらせ搭載全天カメラ観測による南極航海中の雲の出現特性	夏	0
40	58	柴田明穂	神戸大学	現場主義の南極条約体制研究:科学と国際法のインターフェイス	夏	1
41	58	小川 貴代	理化学研究所	昭和基地における省電力光源を用いた水生栽培試験	越冬	0
42	59	久慈誠	奈良女子大学	しらせ搭載全天カメラ観測による南極航海中の雲の出現特性	夏	0
43	59	後藤慎平	東京海洋大学	多次元観測水中無人探査機を用いた南極湖沼のハビタットマッピング	夏	2
44	59	森本真司	東北大学	しらせ船上での大気中O2/N2及びCO2濃度の連続観測	夏	0
45	59	村越真	静岡大学	フィールド安全教育プログラムの開発に向けたリスク対応の実践知の把握	夏	1
46	59	池田博	筑波大学	超伝導重力計の冷凍機能に関する調査研究	夏	1
47	59	西村浩一	名古屋大学	吹雪の広域自動観測と時空間構造の解明による南極氷床の質量収支の定量的評価	夏	1
48	60	久慈誠	奈良女子大学	しらせ搭載全天カメラ観測による南極航海中の雲の出現特性	夏	0
49	60	塩崎拓平	海洋研究開発機構	極域窒素循環の特殊性とその理解	夏	1
50	60	村田昌彦	海洋研究開発機構	漂流パイによる南太平洋表層CO2分圧のモニタリング	夏	0
51	60	森本真司	東北大学	しらせ船上での大気中O2/N2及びCO2濃度の連続観測	夏	1
52	60	西村浩一	名古屋大学	吹雪の広域自動観測と時空間構造の解明による南極氷床の質量収支の定量的評価	越冬	1
53	60	小杉真貴子	中央大学	南極環境における光合成生物の光応答と適応プロセスの解明	越冬	1
54	60	高橋 幸弘	北海道大学	木星の極域ヘイズの偏光観測	越冬	0
55	61	坂野井健	東北大学	しらせ搭載全天イメージャーによる海洋上からのオーロラ・大気光観測実証	夏	0
56	61	久慈誠	奈良女子大学	しらせ搭載全天カメラ観測による南極航海中の雲の出現特性	夏	0
57	61	森本真司	東北大学	しらせ船上での大気中O2/N2及びCO2濃度の連続観測	夏	0
58	61	川崎 一義	宇宙航空研究開発機構	極地における居住ユニットの実証研究	越冬	0